

地域のつながり強化について

前回部会ででた課題

- ・ 地域住民が自分の地区に障がい者が住んでいることを知らない点
- ・ 民生児童委員の要援護者名簿には希望者しか載らない点
- ・ 民生員の受け手が少なく、さらなる負担増になってしまわないかという点
- ・ 障がい児者家族が地域に知られたくない思いを持っている点

① 福井市避難支援プランの周知

【福井市避難支援プランとは】

別紙参照

【活用方法】

避難支援プラン作成に係る名簿を民生委員等に配布しており、その名簿を基に気にかける対象や、見回り対象として認識される。

【課題点】

障がい児者に対しては手帳交付の際に周知しているが、等級非該当を理由に制度の利用が広がらない。

等級非該当だが支援が必要な家庭の存在（親が介護非該当だが高齢、本人は等級非該当の二人暮らしなど）。

見守りなどを行う民生委員の障がいへの知識不足。

② 地域住民の障がい理解促進

【福井市の理解促進事業】

- ・ 障がい者スポーツ大会
- ・ 小中学生を対象とした「心のバリアフリー教室」
- ・ 「ミニ手話講座」
- ・ 発達障がいの理解のための講演会

【民生委員・児童委員への障がい者理解促進】

民生委員への学習会（地区相談なんとが12月開催予定）